

# かたの



R3.4.19  
形埜小学校  
校長だより

## 雨の通学班 コマ

14日の朝は、雨の中を歩いての登校でした。霊水坂を下って、通学の様子を見に行きました。(この班で、一番距離がある子は、5km近くある?)ただでさえ、長い道のり。重いランドセルをしょって、長靴はいて、傘さして…、相当ハードだと思われます。最後の最後に急勾配の霊水坂は、心が折れます…。そのことを体感している2年生以上のチームワークがすごかった。一緒に歩いている間中、班長さんの声掛けが止まることはありませんでした。その声掛けに全員が反応していました。「もう少しだよ!」「○ちゃん、前と離れないで!」「○さん、速すぎ!もっどゆっくり歩いて!」「□くん、たのむよ! ○ちゃん見てあげて!」途中、救急車の音が響き、耐えられず、耳をふさぐ子が…。～「□くん、大丈夫だよ! それにこの音しばらく止まらないと思うから、我慢・我慢! 耳をふさいで、傘がずれ落ちて、□くんが濡れちゃう方が大変だよ」～みんなが不安にならないようにと & 任せるところは任せる など お見事でした。一年生の子が疲れて歩みが止まりそうになると、前に進めるように、「まずは、○ちゃんに追いつけ! 次は◇ちゃんだ!」と、声をかけます。その声に反応して、一年生も嬉しそうに進んでいきます。副班長さんも、一年生にぴったりついて、濡れないようにと傘を補助していました。& 班長の指示を聞くと、スツとサポートに入って列を整えます。絶妙のタイミング・コンビネーションです。坂の残り20m くらいで、下学年の歩みがスローになりました。すかさず、班長さんが後ろにまわり、ランドセルを押します。押された男の子がぽつりと一言「今日の雨、長い」。

班長さん、もうへろへろだろうに、ちゃんと答えます。「長いね…」～班長さんにとっては、本当に本当に長い道のりに違いありません。毎日、こんなドラマが朝から展開されているのかと思うと感動します。



これは、次の日の様子

## 「力を合わせるとなんでいいの?」の対話(なるほど!紹介)

### 6年生

- ◆力を合わせると、できないことや分からないことができるようになったり、アイデアが増えたり、それをよりよくなる。 ◆絆や団結力が深まり、一人一人の力が強くなる。 ◆みんなでやれば成果が得られる。
- ◆一人ですることでも人数を多くすればできることがある。

### 5年生

- ◆みんなでやると楽しい。 ◆分かり合える。
- ◆合唱でひとつになれると一人だけで歌うとはちがうよいものがある。
- ◆運動会でみんなでやると成功するとすごく嬉しい。
- ◆遊びもみんなでやった方が楽しい。 ◆給食やそうじもみんなでやると早い。 ◆「One for all. All for one.」

### チャレンジ

- ◆行事(運動会や学芸会)は、みんなでやると迫力が出るし、楽しい。
- ◆縦割りそうじでは、教え合っつながっていくのがいい。
- ◆みんなでやると、いろいろドキドキ満載(まんざい)!

■6年生の教室では、最後のまとめの発表のところでした。発表者がとても分かりやすく上手に発表していたので、「うまいね!」と声をかけたら、「班の○さんが作ってくれたまとめノートがよかったからです!」と教えてくれました。見せてもらった、確にお見事でした。どちらも素敵です!

■5年生の教室では、この話し合いを生かして『級訓決め』をしていました。決めた根拠に話し合いの内容がちゃんと登場していました。

■チャレンジの教室では、約30分間それぞれの発表が止まりませんでした。それぞれ、理由や根拠もしっかり述べられ、聞いていて楽しかったです。「ドキドキ満載(まんざい)」という表現が素敵!